

第42回 日本化粧品学会 プログラム

メインテーマ：美しく健康な皮膚を保つための化粧品学最前線
～長く生きるほど健やかな社会へ。

化粧品学ができること～

日時：2017年6月9日（金）、10日（土）
場所：有楽町朝日ホール
東京都千代田区有楽町 2-5-1 有楽町マリオン 11F Tel.03-3284-0131
交通：JR（山手線・京浜東北線）有楽町駅
東京メトロ（有楽町線）有楽町駅
東京メトロ（丸ノ内線・銀座線・日比谷線）銀座駅 下車徒歩1～2分
主催：日本化粧品学会
協賛：日本化粧品工業連合会
会頭：西村哲治（帝京平成大）
副会頭：猪股慎二（資生堂）
大会参加費：会員（事前）：13,000円、会員（当日）：15,000円
：非会員（事前）：18,000円、非会員（当日）：20,000円
：学生（当日のみ・要旨集込）：2,000円（要学生証提示）
懇親会：2017年6月9日（金）18：30～ 会費 8,000円
会場コートヤード・マリOTT銀座東武ホテル
参加予約：Web受付 <http://www.jcss.jp/event/>
2017年3月上旬～2017年4月17日（月）締切
問合せ先：日本化粧品学会大会事務局
〒162-0801 東京都新宿区山吹町 358-5 アカデミーセンター
Tel.03-5389-6496 Fax.03-5227-8632
E-mail.jcss-desk@bunken.co.jp

2017年6月9日（金） 1日目

- 10:00～10:05 開会挨拶 会頭 西村哲治（帝京平成大）
総合司会：田中 浩（日本メナード化粧品）
- 10:05～10:35 会頭講演 座長：石河 晃（東邦大）
化粧品学における基礎研究
西村哲治（帝京平成大）
- 10:35～11:15 一般研究演題（I） 皮膚生理 I 3題（発表8分、質疑4分）
座長：渡辺晋一（帝京大）
川田裕三（花王）
- R01 メラノソーム輸送阻害によってメラノサイトに蓄積されたメラニン
はオートファジーによって分解される
○勝山雄志¹、平 徳久¹、正木 仁²、吉岡正人¹（¹成和化成、²東京工科大・応用生物）
- R02 培養ヒト正常ファイブロブラストによるメラノソーム集合小球の貪食作用に及ぼす
負電荷チャージとカルボキシ基の影響
○吉本 聖¹、吉田萌生¹、大萩権明¹、柳 大樹¹、八木政幸²、西方敬人³、市橋正光⁴、安藤秀哉¹
（¹岡山理科大学・工・応用科学、²ロゼット、³甲南大・フロンティアサイエンス、⁴再生未来クリニック神戸）

R03 西洋カボチャ種子エキスは酸化ストレスにより亢進した表皮角化細胞のメラノソームの貪食を Nrf2 の活性化を介して抑制する

○遠藤香凜,水谷多恵子,岡野由利,正木 仁(東京工科大院)

11:15~11:55 一般研究演題(Ⅱ) 製剤 3題(発表8分,質疑4分)

座長: 藤堂浩明(城西大)

長濱 徹(大正製薬)

R04 ペプチド脂質の自己組織化能を利用した新規ゲル基剤の調製とその経皮吸収特性

○後藤雅宏¹,福田 繭¹,宮地伸英²(¹九州大院・工,²日産化学工業)

R05 各種サンスクリーン剤の実使用量調査

○丸目 愛¹,倉持正博¹,川島 眞²(¹ビューティアンドヘルスリサーチ,²東京女子医大)

R06 セルロースナノファイバーの化粧品添加効果

○近藤兼司^{1,2},森本裕輝²,小倉孝太²,岩坪 聡¹(¹富山県工業技術センター,²スギノマシン・新規開発)

11:55~13:55 昼休み(120分)

12:55~13:55 ポスターセッション①

(以下の4演題の発表者は、ポスター前で、1時間、責任在席)

P01 エステル化合物適用後のヒト表皮および3次元培養ヒト表皮モデルの代謝挙動の差異に関する研究

○渡辺 新¹,藤堂浩明¹,井上貴暁¹,畑中朋美²,杉林堅次¹(¹城西大・薬,²東海大・医)

P02 長期培養老化モデルと過酸化水素誘導老化モデルの相関性について

○吉田萌生¹,吉本 聖¹,大萩権明¹,柳 大樹¹,八木政幸²,山下裕司³,平尾哲二³,市橋正光⁴,安藤秀哉¹
(¹岡山理科大院・工・応用化学,²ロゼット,³千葉科学大・薬・生命薬,⁴再生未来クリニック神戸)

P03 フラーレン誘導体の活性酸素発生能の評価

○橋本亜紀子,高村岳樹(神奈川工科大・工・応用化学)

P04 3次元培養表皮における抗老化成分の有効性評価

○大串明子,窪小谷淳一,太刀川亜希子,岩根直紀,鳴嶋啓介(ハリウッド)

13:55~14:55 一般研究演題(Ⅲ) 安全性、評価法 5題(発表8分,質疑4分)

座長: 須賀 康(順天堂大)

芹澤哲志(ライオン)

R07 ヒト皮膚透明化技術の開発と毛細血管の3次元的可視化

○加治屋健太郎¹,備瀬竜馬²,Catharina Seidel³,佐藤いまり²,山下豊信¹,Michael Detmar³
(¹資生堂・グローバルイノベーションセ,²国立情報学研,³スイス連邦工科大・薬)

R08 種々油性基剤からの薬物の *in silico* 皮膚透過性予測に関する研究

○元木 杏¹,田村麻衣¹,藤堂浩明¹,内田崇志²,佐野友彦²,杉林堅次¹(¹城西大・薬,²花王)

R09 Adverse Outcome Pathway に基づく化粧品の光安全性評価

○西田勇人¹,足利太可雄¹,廣田衛彦¹,尾上誠良²,上月裕一¹
(¹資生堂・グローバルイノベーションセ,²静岡県立大・薬)

R10 次世代シークエンサーを用いた日本人女性顔面細菌叢の大規模解析

○古俣麻希子¹,立花広太¹,井上玄志¹,須谷尚史²,白髭克彦²,伊藤武彦³,森川あすか¹
(¹TAK-Circulator,²東京大・分子細胞生物,³東京工業大院・生命理工)

R11 SSCI-Net 症例情報から見てきた化粧品の皮膚安全性(2017)

○松永佳世子^{1,2},久野千枝²,枝松栄子^{1,2},鈴木加余子^{1,3},矢上晶子^{1,3},杉山真理子^{1,4},片山一郎^{1,5},
若林正治^{1,6},藤井まき子^{1,7},林秀樹^{1,8},山本順二^{1,4},籠橋雄二¹
(¹SSCI-Net,²藤田保健衛生大・医・アレルギー疾患対策医療,³藤田保健衛生大・坂文種報徳會病院・
総合アレルギー,⁴日本化粧品工業連合会,⁵日本皮膚科学会,⁶日本臨床皮膚科医会,⁷日本化粧品学会,
⁸日本ヘアカラー工業会)

- 14:55~15:15 休憩 (20分)
- 15:15~16:00 特別講演 I 座長：西村哲治 (帝京平成大)
日本化粧品学会：成し得たこと、そして為すべきこと
川島 眞 (東京女子医大/日本化粧品学会 理事長)
- 16:00~16:40 一般研究演題 (IV) 有効性 3題 (発表8分, 質疑4分)
座長：藤井まき子 (日本大)
前澤大介 (癸巳化成)
- R12 抗シワ医薬部外品成分 NEI-L1 の作用機序及び目尻シワに対する有効性
○楊 一幸¹, 五味貴優¹, 竹内啓貴¹, 穴戸まゆみ¹, 堀田明成¹, 沼野香世子², 石崎千明³, 川島 眞⁴
(¹ポーラ化成工業, ²クイーンズスクエア・皮・アレルギー, ³特定医療法人大坪会・三軒茶屋病院, ⁴東京女子医科大)
- R13 加熱処理乳酸菌末の皮膚外用バイオジェニック素材としての新規有用性
○高山和江¹, 牧岡祐子², 伊藤賢一¹, 坪井 誠¹(¹一丸ファルコス, ²コンビ)
- R14 伊豆赤沢海洋深層水の保湿効果の特徴
○荒川 充, 石川亜紀子, 池島俊季, 野村道康, 山田勝久(ディーエイチシー)
- 18:30~ 懇親会 (コートヤード・マリオット銀座東武ホテル)

2017年6月10日(土) 2日目

- 9:30~10:00 総会
- 10:00~10:40 一般研究演題 (V) 角層 3題 (発表8分, 質疑4分)
座長：世喜利彦 (上武大学)
木曾昭典 (丸善製薬)
- R15 角層細胞間脂質疑似基板の開発とその応用
○岡隆史¹, 今榮東洋子²(¹資生堂・グローバルイノベーションセ, ²国立台湾科技大・応用科技研)
- R16 光学活性セラミドによる皮膚角層細胞間脂質モデルの調製と評価
○小幡誉子¹, 表 萌々¹, 新井裕子¹, 太田 昇², 石田賢哉³, 高山幸三¹
(¹星薬大, ²SPRING-8/JASRI, ³高砂香料工業)
- R17 超臨界流体クロマトグラフィー (SFC)による角層セラミド分析法の開発
○加藤英資¹, 畑毅¹, 和泉自泰², 馬場健史²(¹コーセー・研, ²九州大・生体防御医学研)
- 10:40~11:20 一般研究演題 (VI) 皮膚生理 II 3題 (発表8分, 質疑4分)
座長：大島 宏 (ポーラ)
片桐千華 (資生堂)
- R18 Na⁺/H⁺ exchanger 1 は皮膚の pH と肌荒れに關与する
○村上祐子, 田中 浩, 八代洋一, 中田 悟
(日本メナード化粧品・総合研)
- R19 カルボニルタンパクが真皮マトリックス再生に及ぼす作用
○山脇裕美子, 水谷多恵子, 岡野由利, 正木 仁
(東京工科大)
- R20 表皮角化細胞に対するフィチン酸の効果
○村上葉菜¹, 横田麻美¹, 森 俊裕², 作山 秀², 徳留嘉寛¹
(¹城西大・薬・皮膚生理, ²マンダム)
- 11:20~13:20 昼休み (120分)

12:20~13:20 ポスターセッション②

(以下の4演題の発表者は、ポスター前で、1時間、責任在席)

P05 表皮幹細胞生体内酸化ストレスイメージング

○Wolf Alexander, 太田成男(日本医科大・先端医学研・細胞生物)

P06 日本人女性の顔面皮脂量と皮膚粘弾性に関する疫学的な検討

-皮脂量のコントロールによってハリのある肌を実現する可能性-

○望月慶太¹, 遠山真一², 長久保太郎², 鈴木伸幸², 岩井一郎¹(¹サティス製薬・研究,²鈴木ハーブ研)

P07 角層細胞間脂質モデルの調製およびその評価

○黒川圭吾¹, 箱田優也¹, 酒井健一^{1,2}, 酒井秀樹^{1,2}, 阿部正彦², 坂本一民¹

(¹東理大・理工,²東理大・総研)

P08 中国における「脂性乾燥肌」の特性とセラミドとの関連

○下豊留芳枝¹, 西島貴史¹, Yao Xueqiu², Di Ye², 花本智子¹, 石川准子¹

(¹花王・研,²花王・中国研究開発中心)

13:20~14:05 特別講演Ⅱ

座長：猪股慎二（資生堂）

iPS細胞による加齢黄斑変性治療

高橋政代（理化学研究所）

14:05~14:30 一般研究演題（Ⅶ） 光と皮膚

2題（発表8分，質疑4分）

座長：笠 明美（コーセー）

瀬川憲人（セニルラボラトリーズ）

R21 UVB照射により惹起される皮膚の炎症部位におけるアルキルグリセリルエーテルの
炎症部位特異的な抗炎症作用

○横田真理子¹, 矢作彰一¹, 正木 仁²

(¹ニッコールグループ・コスモステクニカルセ,²東京工科大・応用生物)

R22 紫外線曝露が口唇性状に与える影響

○服部研人¹, 田村英子¹, 八谷 輝², 安森春子¹, 野村睦子¹, 土屋竜太¹, 山本隆斉¹

(¹花王・メイクアップ研,²花王・生物科学研)

14:30~14:50 休憩（20分）

14:50~16:50 シンポジウム 皮膚の健康科学最前線

座長：常深祐一郎（東京女子医大）

見坊行広（岩瀬コスファ）

1. 「保湿 温故知新」

平尾哲二（千葉科学大）

2. 「皮膚科における化粧品の役割」

菊地克子（東北大）

3. 「アトピー性皮膚炎 発症予防のエビデンス」

福家辰樹（国立成育医療研究センター）

4. 「毛包の老化の仕組み」

西村栄美（東京医科歯科大）

5. 総合討論

16:50~ 閉会挨拶 次期会頭 石河 晃（東邦大）

総合司会：田中 浩（日本メナード化粧品）